

みずほCustomer Desk Report 2020/06/08号(As of 2020/06/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.10
TKY 9:00AM	109.15	1.1335	123.72	GBP/USD	1.2604
SYD-NY High	109.85	1.1384	124.43	AUD/USD	0.69390
SYD-NY Low	109.05	1.1279	123.55		
NY 5:00 PM	109.59	1.1292	123.76		
NY DOW	27,110.98	829.16	日本2年債	-0.150	2.00bp
NASDAQ	9,814.08	198.27	日本10年債	0.040	1.00bp
S&P	3,193.93	81.58	米国2年債	0.21	1.22bp
日経平均	22,863.73	167.99	米国5年債	0.46	5.46bp
TOPIX	1,612.48	8.66	米国10年債	0.89	6.84bp
シカゴ日経先物	23,145.00	410.00	独10年債	-0.2790	4.55bp
ロンドンFT	6,484.30	142.86	英10年債	0.3530	4.70bp
DAX	12,847.68	417.12	豪10年債	1.0750	6.60bp
ハンセン指数	24,770.41	404.11	USDJPY 1M Vol	5.58	▲0.08%
上海総合	2,930.80	11.55	USDJPY 3M Vol	5.83	▲0.13%
NY金	1,683.00	▲44.40	USDJPY 6M Vol	6.53	▲0.07%
WTI	39.55	2.14	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	138.98	3.23	EURJPY 3M Vol	7.63	▲0.09%
ドルインデックス	96.94	0.26	EURJPY 6M Vol	7.83	▲0.24%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月5日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	5月 2509k	-7500k
	21:30	米 失業率	5月 13.3%	19.0%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	5月 -1%/6.7%	1%/8.5%
6月7日	12:06	中 輸出(前年比)	5月 -3.3%	-6.5%
	12:06	中 輸入(前年比)	5月 -16.7%	-7.9%
	12:06	中 貿易収支	5月 \$62.93b	\$41.40b

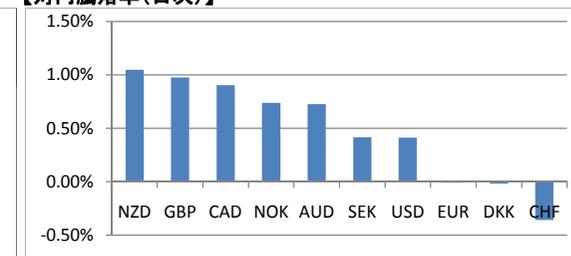
Date	Time	Event	予想	前回
6月8日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	1Q -0.5%	-0.9%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	1Q -2.1%	-3.4%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	1Q 0.9%	0.9%

東京	東京時間は109.15レベルでオープン。週央から強まってきた円売りの流れを引継ぎ、本日ドル円は高値を探る動き。米雇用統計を控えるなかアシア株が全般的に底堅く推移したこともあって、約2カ月ぶり高値となる109.38まで上昇、そのまま109.36レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.36でオープン。午後には米5月非農業部門雇用者数の発表を控えて総じて閑散。朝方に、米国が5日に発行させた中国の33の企業に対する禁輸措置に対して、中国政府が「必要な措置」を取ると表明したことで、一時的な円買いが見られ109.18まで下げたが、その後は底堅く推移し、109.24レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2658レベルでオープン。アジア時間の終盤でポンドが買われた流れを引き継ぎ上昇。1.2675付近にある200日線を突き抜けるかと1.2690まで上昇したが、すぐ反落。結局1.2663レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、世界経済の活動再開への期待感に株高の流れが続き、円売り優勢となる中、109円台前半で底堅く推移。一時109.43まで上昇し、109.24レベルでNYオープン。朝方は米5月雇用統計が発表され、非農業部門雇用者数が予想750万減に対し結果250万人増、失業率が予想19.0%に対し結果13.3%となり、予想以上の改善をみせたことから、金利の上昇とともにドル買いで反応し、109円台後半まで上昇。その後、トランプ米大統領が雇用統計の結果を受けて記者会見を行い、「米経済はもっとも素晴らしい状態に戻るだろう」、「給与税の減税や追加刺激策を要請するだろう」と述べるも、特段目新しい情報は見当たらず、ドル円の反応は限定的だった。一方、ダウ平均が一時1000ドル超上昇する動きを受けて、円売りも加速すると109.85まで高値更新。午後は新規材料が乏しいほか、週末を控えた積極的な取引が手控えられたことから、109.60近辺で方向感無く推移し、109.59レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、前日のECB理事会で発表されたPEPPの拡大が好感され、リク選好ムードが強まる中、ユーロ買い優勢でスタート。独4月製造業受注が予想を大幅に下回り、過去最悪の低下を見せるも、特段材料視されず、一時1.1384まで上昇。買い一巡後、1.1317まで反落し、1.1336レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計の予想以上の改善を受けてドル買いが強まったことから1.1283まで下落。しかし、米株や欧州株の上げ幅拡大を受けると上昇するユーロにサポートされ、この水準で下げ止まり、1.1300を挟んだレンジでもみ合う。午後は週末を控えた持ち高調整の売りに圧迫され、1.1279まで下落。売り一巡後、小幅値を戻し、1.1292レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 コロナの打撃からのV字回復は本物か

先週末発表された米5月雇用統計の非農業部門雇用者数は前月比250万人増と、事前予想の中央値マイナス750万に比べ、予想外の雇用環境の改善を見せた。その後トランプ米大統領も会見を行い、米経済回復について自信を示した。南米を中心に新型コロナウイルスの蔓延が続いてはいるものの、6月に入ってからはリスクセンチメントは大幅に改善、米株価は大きく上昇している。ワクチンの完成など確たる材料がない中でも株価は上昇を続け、ほぼコロナ前の水準にまで回復した。また、その間ドル売り・クロス円買いが続きEURやAUDはコロナ前の水準を超えて上昇、クロス円も年初来高値をつけている。その中でドル円はクロス円の買いとドル売りの両方からの綱引きで主体性のない動きをしながら、結果的にクロス円の買い圧力に支えられ、下値を切り上げ109円台後半まで上昇を続けた。今後のドル円を展望すると、先週はドル売り円売りの中109円台後半まで下値を切り上げてきたが、上値追いを続けるには、ドル買いの流れが必要であると考え。予想外に強い米雇用統計をきっかけに週末の為替市場では、ドルの買い戻しがや見られており、心理的節目の110円をつけてもおかしくないと思われる。ただし、ドル円は日米間で金利差や金融政策の違いに決定的な差がないことから、110円はいったん達成感が出てもおかしくない水準であり、実需の売りフローも相応に期待されることからドル円は110円を挟んだ水準でもみ合いの展開になるのではないかと予想する。また、市場参加者の多くがリスクオンに傾いたときは警戒も必要で、米中問題や南米を中心としたコロナ拡大、香港の情勢悪化や朝鮮半島の地政学リスクなど、ヘッドラインリスクには留意し、急落リスクもサブシナリオとして注視していきたい。(大谷)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	フル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舘
ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。